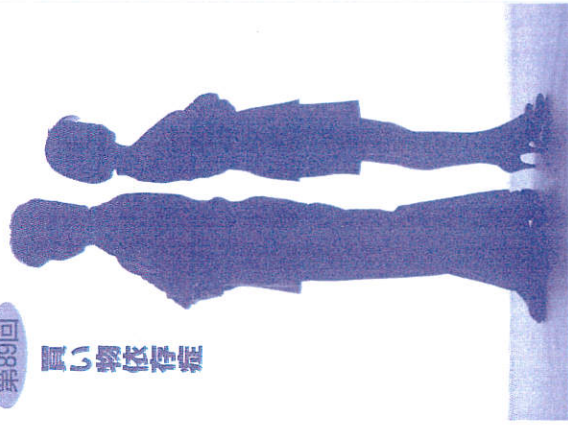


彼女が離婚で 得たもの 失ったもの

岡野あつこ

第89回

買い物依存症



ショッピングがストレス解消という女性が多いのですが、衝動的に高価なブランドものや不要なものまで買い込んで支払いに苦労したという話も珍しくありません。それも後になって笑い話になればいいのですが、買い物をやめられない、借金までして買い物を続けてしまうという人もいます。いわゆる買い物依存症ですが、これはれつきとした病気です。本人が自覚し、治そうと努力すること、周囲の理解、専門医や

カウンセラーの指導などがなければ改善は難しいもの。でも、そうした改善の機会を持たないまま、それが離婚の原因になってしまうこともあるのです。

同居生活によるストレス

短大を卒業後、服飾雑貨のショッピング員をしていた美穂さん(仮名)が結婚したのは26歳のとき。お相手は遠縁の親戚の紹介で知り合った、8歳年上

の勲さん(仮名)です。スタイルが良く、おしやれで人懐っこい笑顔がかわいい美穂さんに、勲さんが一目惚れ。美穂さんも、結婚するなら頼りがいのある年上がいい。と思っていたことから二人の交際は順調に発展し、出会って2年後にめでたく結婚しました。

勲さんの実家は、大手建設会社の仕事を請け負う工務店で、勲さんはその跡取り息子。父親はすでに亡く、美穂さんは結婚と同時に義母と同居することになりました。結婚を機に仕事を辞めた美穂さんは家のことを任せられたのですが、義母の手前、自分の思うようにはできないことも多かったようです。

勲さんはあちこちの現場の管理や人の手配などもあり、仕事が終わるのが深夜近くになることも多く、それまでは話し相手もなかずと一人きり。

なんとなく鬱々とした気分が続き、ふさぎ込みがちな美穂さんを見て心配になったのでしょ、勲さんが「ずつと

家にいなくても構わない。たまには友達に会ったり、買い物に行ったりすればいい」と言ってくれました。

そういえば、以前は毎月のように服やアクセサリーを買っていたのに、結婚してからは何も買っていません。久しぶりのショッピングであれこれ購入し、晴れ晴れした気分で帰宅。

これをきっかけに美穂さんは、月に1〜2度「友人と会う」などと言って外出し、ちよつとした買い物を楽しむようになりました。

やめられなくなった買い物

初めは、本当にちよつとしたものでした。小さなピアス1つ、新発売の口紅1本で満足することもありました。でも、次第に金額を気にすることはなくなり、欲しいと思つたものを買わずにはいられなくなつていったのです。とはいえ、専業主婦で収入のない美穂さ

ん。数千円のは家計をやりくりすればなんとかなりますが、数万円ともなるとそうはいかず、独身時代の貯金を取り崩していたさうです。

一方、勲さんは、箱から出してもいない靴、タグがついたままのスカートなど、部屋に物があふれてきているのを見て、おかしと思つていたさうです。どう考えても家計費でやりくりできるわけもなく、使っている様子もありません。

そこで、無駄な買い物はやめさせよう、ある日「少し買い物を控えたらどうだ」と言つたところ、美穂さんは素直に「そうね、もうやめるわ」と言い、日常の買い物以外で外出することもなくなりました。

ところが、その後も物は増えるばかり。さらに、加湿器やジューサーなどの家電が届くようになり、母親からも「美穂さんが勝手に不要なものを買ひ込むのをやめさせてちょうだい」と勲さ

んが言われる始末。

「初めは、家のことは美穂に任せただからつてかばつていましたが、圧力鍋のセットとか食器のセットとか次々に届くうちにかばいきれなくなつて、なんでこんなに買い込むんだつて問いただしたんです。そうしたら、買うのがやめられないつて言うんです。そんなバカな話ないでしょう。とにかくもうやめるようにきつく言つて、そのときは、本当にやめたと思つていました」と勲さん。

繰り返し買う買い物依存

美穂さんは隠れて買い物を続けていました。しかも貯金は底をつき、クレジットカードの支払いが滞り、キャッシングまでしていたのです。勲さんがそれに気づいたのは、久しぶりに早めに帰宅したとき。美穂さんが慌てて何かを隠そうとしたので取り上げてみると、それは何通もの督促状。調べてみると、

美穂さんの借金は50万円近くあり、このときは、周囲に内緒で勲さんが清算して事なきを得ました。

その後、美穂さんは妊娠し、待望の長男を出産。無駄な買い物もなくなり幸せな毎日だったはずなのですが、ある日、勲さんは長男のおもちゃが増えていることに気づきました。さらに、まだ履けるはずのない靴が何足も。

「美穂はお祝いでもらったつて言うんですけど、部屋の中を調べたらタンスの奥や、ベッドの下にいろいろなもの隠してあったんです。もう二人だけの問題にはしておけないと思い、美穂の実家にも連絡しました」

話を聞いて駆け付けた美穂さんのお父さんが、もしかしたら買い物依存症ではないか、だとしたら何か原因があるはずだという話をしたそうですが、勲さんは「単なる無駄遣いを病気みたいに言うなんて」と、思ったそうです。

このときも、一時的に美穂さんの買い

物はおさまったのですが、半年もしないうちにまた物が増え始め、勲さんが気づいたときには消費者金融に100万円近い借金がありました。

「もう限界でした。母は、あんな嫁は知らない。って言い出すし、美穂は『買っちゃいけないと思うけど、やめられない。自分の意志ではどうにもならない。なんてバカなことを言うし。やたらに感情の起伏が激しくて、子供のことも心配でした。だから、離婚を決意したんです』」

勲さんは、借金の清算は自分がするから、子供をおいて家を出てほしいと言ったそうです。美穂さんは、離婚は仕方ないと思ったものの、子供を手放すことはできませんでした。

「私一人で子供を育てていくのは難しいことはわかっていました。でも、この子がいれば私はもう一度やり直せると思ったんです。だから、実家の両親に頭を下げて家に戻ることを許してもら

いました」と美穂さん。

その後、離婚は調停にまでもつれ込みましたが、実家の援助が確実ということもあり、何とか親権を手に入

れ、美穂さんは両親のもとに身を寄せました。買い物依存症であることも自覚し、現在は専門医のもとで治療を受けているそうです。お子さんのためにも早く元気な毎日を取り戻してほしいものです。



●おかの あつこ

立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科博士課程前期課程修了。離婚・再婚・恋愛など男女に関する相談全般を手がけるライフアップカウンセラーとして活躍中。主婦・OLに人気の離婚カウンセラー養成スクールを開催するほか、NPO法人日本家族問題相談連盟理事長も務める。ただいま「解決! ナイナイアンサー」(日本テレビ毎週火曜21:00~)に出演中。【近況】現在、離婚カウンセラー養成講座・春開講に向けた無料説明会を全国で開催中です。東京、大阪、札幌と続くので興味のある方はぜひ一度ご参加ください。今なら「入学金免除」や「早割!!」などの特典もありますよ。